

コートディボワールにおける産業金融構造

－植民地経済の影響－

木村公一

大阪市立大学経営学研究科附属先端研究教育センター特別研究員

1 はじめに

1.1 本報告の目的

サハラ以南の旧仏領アフリカ諸国の独立は、フランス政府の承認の下、流血の事態を招くことなく平和裏に行われた。しかし、主権を回復したアフリカ諸国政府は、フランスとの政治的な対立を避け、友好関係の維持に努める政策を採用した。その一環として、独立に際し、ガーナやエジプト等で見られた植民地時代の旧宗主国資本を急速に国有化することは行われなかった。結果、植民地時代の産業及び金融構造を存続させることとなった。

植民地時代の産業金融構造を残したままで、独立後に開発を推進したことは、旧仏領アフリカ諸国の経済を特徴付ける大きな要因になったと考えられる。本報告で取り上げる西アフリカのコートディボワール(Côte d'Ivoire)は、こうした産業金融構造を明確な形で存続させていた代表的な国である。そこで、同国を事例として、この独特の産業金融構造が経済開発に与える問題点を分析する。なお分析対象とする次期はコートディボワールの独立後から1980年代までとしている。

コートディボワールは1970年代末に急速な経済的拡大を経験し、「象牙の奇跡」や「黒い日本」と呼ばれた時期もあった。しかし産業の近代化には成功せず、80年代に入ると急速に経済状況を悪化させている。本報告では、コートディボワールの持つ産業金融関係を、1980年代の経済停滞の原因のひとつとして捉えている。したがって同国の経済拡大の原因分析は扱わないこととする。

1.2 分析方法

本報告では、コートディボワール国内の産業金融関係について、政府資本と外国資本の対比によって分析を行う。(民間による資本蓄積が行われていなかった独立直後のコートディボワールでは、**国内資本と政府資本**は同義であり、逆に**民間資本と外国資本**はほぼ同義)

政府資本と外国資本の分類は、「Michel BERNARD, « *Les entreprises publiques en Côte d'Ivoire* », *Banque Centrale des Etats de l'Afrique de l'Ouest, L'Economie Ouest Africaine, Note d'Information, No.170, Février 1970.*」に基づいておこなう。

さらに、一般企業(金融機関以外の企業)、金融機関について、それぞれ企業形態別分類の分析を行うこととする。

Michel BERNARD の分類

『公企業』(Les sociétés d'Etat)

政府が100%出資した企業。

『混合企業』(Les sociétés d'économie mixte)

政府と民間の共同出資で、政府が積極的に経営参加する企業。

『私企業』(Les sociétés privées)

政府と民間の共同出資で、政府が経営参加しない企業。

もしくは完全な民間企業。

これら 3 形態の企業以外に財政によって運営される『公的機関』(Les établissements publics)も存在する

2 一般企業の状況

2.1 独立直後のコートディボワールの状況

コートディボワールを含む西アフリカ地域では、東アフリカ地域などとは異なり白人系住民が経営する大規模なプランテーションが未発達。

国内農業は、小規模な自営農民が中心の担い手。

国内の農産物流通は、レバノン系商人が中心に担っており、組織だった体制は不在。

農業開発にあたって、フランス系資本の既得権益を侵害する事態はほとんど発生しない。

一方で、農業の組織化や流通体制を一から構築する必要性あり。

独立以前、製造業で輸出可能なものはほとんど無し。

2.2 独立後のコートディボワール政府による基本方針

「我々は産業部門をより高度化するための方策として、既存の工場を国有化するのではなく新たな工場創設を行う。」(ウフェエ=ボアニ大統領(Président Houphouët Boigny)、1962年1月15日国民議会演説より)

大統領演説の趣旨

フランス資本の国有化政策を否定。

発展が遅れている部門に関しては国が新たに企業を創設。

具体的な開発政策

農業関連部門の育成を推進。

前近代的な農業部門を国の力で輸出可能な状態に。

フランス資本がほとんど存在しない農業関連部門に企業創設し、摩擦を回避。

上記のような基本方針の結果、企業形態に応じた産業部門別の棲み分けが発生。

2.3 具体的な一般企業の状況

2.3.1 『公企業』に分類される一般企業

表 1.1 『公企業』の一般企業

名称	機能
農業機械化開発公社 MOTORAGRI	農業近代化支援
コートディボワール農業近代化技術支援公社 SATMACI	農業近代化支援
農産物価格安定支援金庫 CAISTAB	コーヒー及びカカオの買取と生産者価格の安定 1999年に民営化 Nouvelle CASITAB となる
オイル用パーム椰子開発輸出公社 SODEPLAM	オイルパームの買取と生産者価格の安定
森林開発公社 SODEFOR	森林開発支援 1991年に改名、公社として存続
コートディボワール鉱業開発公社 SODEMI	鉱業開発支援
コートディボワール石油公社 PETROCI	天然ガス開発 1975年設立、1996年に民営化
コートディボワール石油資源管理公社 GESTOCI	国内保有の石油備蓄管理 1983年に、石油危機対策として設立
国立技術開発教育機関 BNETD	専門化育成支援

出所: Michel BERNARD, "Les entreprises publiques en Côte d'Ivoire" Banque Centrale des Etats de l'Afrique de l'Ouest, L'Economie Ouest Africaine, Note d'Information, No170, Février 1970.

Société Ivoirienne de Construction et de Gestion Immobilière, Historique et Evolutions,

<http://www.sicogi.co.ci/historique.html> (21 July 2004).

Société Ivoirienne de Raffinage, Page Accueil, <http://www.sir.ci/Francais/html/accueil.html> (21 July 2004).

WINNE Online, Report & Interview, Sub-Saharan Africa, Côte d'Ivoire,

<http://www.winne.com/coteivoire/coteivoire.html> (21 July 2004).

農林水産業及びそれらに関連する製造、流通が中心（農業関連部門）。
鉱業部門は同国産業の中心ではない。

2.3.2 『混合企業』及び『私企業』に分類される一般企業

表 1.2 『混合企業』及び『私企業』に分類される一般企業

名称	機能
アフリカゴム農場会社 SAPH(混合・仏)	大規模ゴム農場を運営 政府(50.4%)、フランス資本が参加
コートディボワールパイナップル会社 SALCI(混合・仏)	パイナップルの輸出 政府(21%)、フランスが資本参加
イボワリエヌ建設不動産会社 SICOGI(混合・仏)	住宅の建設供給 政府(53.7%)、フランス資本が参加
コートディボワール電気会社 EECI(混合・仏)	電力供給 政府(50.3%)、フランス資本が参加、1990年独占状態修了
アビジャン交通会社 SOTRA(混合・仏)	アビジャン市におけるバスの運行 政府(41.14%)、フランス資本が参加
エールアフリック RK(混合・仏)	アフリカとフランス間の航空機運行 UTA フランス航空(34%)とアフリカ各国政府(66%)の共同出資
エールイボワール VU(混合・仏)	国内及び近隣諸国への航空機運行 政府(66%)、UTA フランス航空(34%)
イボワリエヌ肥料会社 SIVENG(混合・非仏)	政府(35%)、ドイツ資本が参加
イボワリエヌ石油精製会社 SIR(混合・非仏)	石油製品の製造 政府(47%)、アメリカ、イギリス、オランダ資本が参加
パレスココディホテル (混合・非仏)	高級ホテル 政府(48%)、イスラエル資本が参加
シェル SHELL(私・非仏)	石油会社 独立以前から存在
ノボテル (私・非仏)	高級ホテル 1979年進出
ソフィテル (私・非仏)	高級ホテル 1983年進出

注：略称の後の(混合)は『混合企業』を(私)は『私企業』を示す。また(仏)はフランス系資本参加、(非仏)は非フランス系資本参加を示す。

出所：表 1.1 に順ずる。

フランス系資本参加企業と非フランス系資本参加企業との間に相違。

フランス系

インフラ、交通関連(植民地時代からの既得権)。

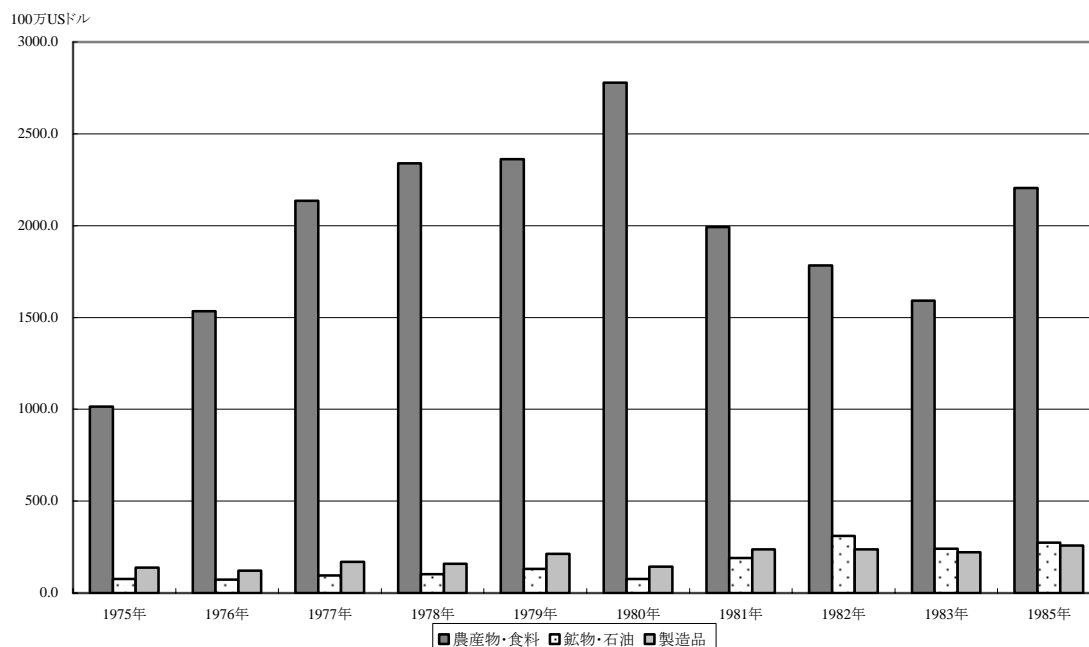
非フランス系

限定的な製造業関連。

一般企業の『私企業』が増加するのは1980年代以降。

2.3 コートディボワールにおける一般企業の状況

図1 コートディボワールの財輸出構成



出所: World Bank, *The 2000, World development Indicators CD-ROM*. 2000.

『公企業』は農業関連部門に集中し、フランス資本参加の企業は植民地経済の影響を強く受けている状態にあった。また、非フランス系企業は、非常に限定された分野にとどまっていた。

コートディボワールの経済開発は農産物輸出が軸であり、『公企業』が産業の輸出産業の中心を担っていた。逆に外国資本は植民地時代からの資本関係が存続した結果であり、経済開発のために新たに誘致されたものではなかった。

表2 1964年及び88年におけるコートディボワールの貿易状況

	主要輸出品目	比率	主要輸出相手国	比率	主要輸入品目	比率	主要輸入相手国	比率
1964年	コーヒー	42.6	フランス	35.9	消費財	49.7	フランス	62.4
	木材	24.0	アメリカ	20.0	プラント用完成品機材	28.2	アメリカ	9.4
	ココア	19.5	オランダ	8.0	原材料 半製品	17.6	西ドイツ	4.6
1988年	ココア	29.6	フランス	15.9	基礎製品	24.4	フランス	31.2
	コーヒー	17.6	オランダ	15.8	食料品	22.0	ナイジェリア	9.5
	石油	10.7	アメリカ	7.4	機械 輸送機器	20.9	西ドイツ	5.5

出所: 日本経済調査協議会『西アフリカ関税同盟の現況と展望』、1967年

国際連合『国際連合貿易統計年鑑 1993』

3 金融機関の状況

3.1 具体的な金融機関の状況

3.1.2 『公企業』に分類される金融機関

表 3.1 『公企業』に分類される金融機関

名称	機能
金融公社 SONAFI	政府による資本参加のための機関
コートディボワール信用公社 CCI	開発銀行
国立農業開発銀行 BNDA	農業向け開発銀行
国立貯蓄信用銀行 BNEC	国民一般向けの貯蓄開発銀行
自動車信用アフリカ会社 SAFCA	特殊金融機関

出所: Michel BERNARD, "Les énterprise publique en Côte d'Ivoire" Banque Centrale des Etats de l'Afrique de l'Ouest, L'Economie Ouest Africaine, Note d'Information, No170, Février 1970.

WINNE Online, Report & Intaview, Sub-Shaharan Africa, Côte d'Ivoire,

<http://www.winne.com/coteivoire/coteivoire.html> (21July 2004).

Africa Onweb, Les établissements et bancaires en Afrique, Les 50 Premieres banques de la zone franc,

<http://www.africa-onweb.com/economie/banques/banque4.htm> (21July 2004).

Banque Internationale pour le Commerce et l'Industrie en Côte d'Ivoire, Page Accueil,

<http://www.bicici.org/index.html> (21July 2004).

Société Générale de Banque en Côte d'Ivoire, Infomations générales, Presentation de la SGBIC,

<http://www.sgbci.ci/index1.php> (21 July 2004).

Société Ivoirienne de Banque, Page Accueil, <http://www.sib.ci/accueil.html> (21 July 2004).

金融公社(SONAFI)

コートディボワール政府による資本参加を行うために設立された『公企業』。

金融公社自身をのぞく『公企業』及び『混合企業』、『私企業』の政府資本に該当する部分の株式を保有。

コートディボワール信用公社(CCI)、国立農業開発銀行(BNDA)

農業関連部門向けの開発銀行。

国立貯蓄信用銀行(BNEC)

零細貯蓄の受け入れる貯蓄銀行としての役割と、農業関連部門向けの融資を行う開発銀行としての役割を担う。

コートディボワールにおける零細貯蓄の預金者は、労働人口構成比率から見ても農村部

が中心であり、同行は事実上農村部における唯一の預金銀行となっていた。

3.1.2 『混合企業』、『私企業』に分類される金融機関

表 3.2 『混合企業』及び『私企業』に分類される金融機関

名称	機能
イボワリエヌ工業開発銀行 BIDI(混合)	工業向け開発銀行 政府(21%)
アフリカ信用契約会社 SAFBAIL(混合)	特殊金融機関
イボワリエヌ信用会社 SIF(混合)	特殊金融機関
コートディボワール国際商工業銀行 BICICI(私)	商業銀行 パリ国立銀行系列
ソシエテジェネラル=コートディボワール銀行 SGBICI(私)	商業銀行 ソシエテジェネラル系
ソシエテイボワリエヌ銀行 SIB(私)	商業銀行 クレディリヨネ系
西アフリカ国際銀行 BIAO(私)	商業銀行 元西アフリカ銀行に米資本が出資、1980年進出、
コートディボワール金融会社 COFINCI(私)	再割引と資本参加 BICICI7%、SOMF14%、BNP14%
シティバンク (私)	商業銀行 1975年進出

注:略称の後の(混合)は『混合企業』を(私)は『私企業』を示す。

出所:表4に順ずる。

『混合企業』系金融機関は「非農業関連部門」向けの開発銀行が中心。

「非農業関連部門」に長期の開発資金を供給しているが限定的。

『私企業』の主要3行は、すべてフランスの主要銀行の現地法人を母体とした子会社。

BICICI=BNP(パリ国立銀行/現BNP・パリバ銀行)

SGBCI=ソシエテジェネラル

SIB=クレディリヨネ

「非農業関連部門」に短期資金を供給

外国資本の影響下にある企業(『混合企業』『私企業』のほぼ全て)は長期資金を親企業から供給されていた。

BIAOは元西アフリカ銀行(植民地時代の発券銀行で植民地投資銀行としての性格を持つ)を母体とするが、米資本によって再生され、現在は米系の投資業務に従事。

3.1.3 その他の金融機関

独立償還基金(CAA)

財政で運用される金融機関として政府の債務管理を行う。
国内向けには小額国債を発行することがあるが規模は小さい。

3.2 コートディボワールにおける金融機関の状況

政府資本の『公企業』金融機関

SONAFIを除いて、農業関連部門もしくは農村部への金融業務を中心としていた。
国内の零細貯蓄は、BNECが吸収。

外国資本参加の金融機関

『混合企業』系の金融機関は、開発銀行として「非農業関連部門」へ長期資金を供給。
『私企業』系の金融機関は、中心となる3大商業銀行すべてがフランスの3大銀行グループの傘下であり、「非農業関連部門」に短期資金を供給。

4 コートディボワールの産業金融関係

4.1 コートディボワール国内の企業の棲み分け

『公企業』（政府資本の企業）

一般企業は、農産物輸出拡大による開発戦略の中心を担う「農業関連部門」の企業。
金融機関は、「農業関連部門」の企業への資金供給と農村部を中心とした零細貯蓄を扱う。

『混合企業』及び『私企業』（外国資本が参加する企業）

フランス資本参加の一般企業は、植民地時代からの既得権益である「非農業関連部門」の企業。

非フランス系の一般企業は、限定された製造業やサービス業を担う「非農業関連部門」の企業。

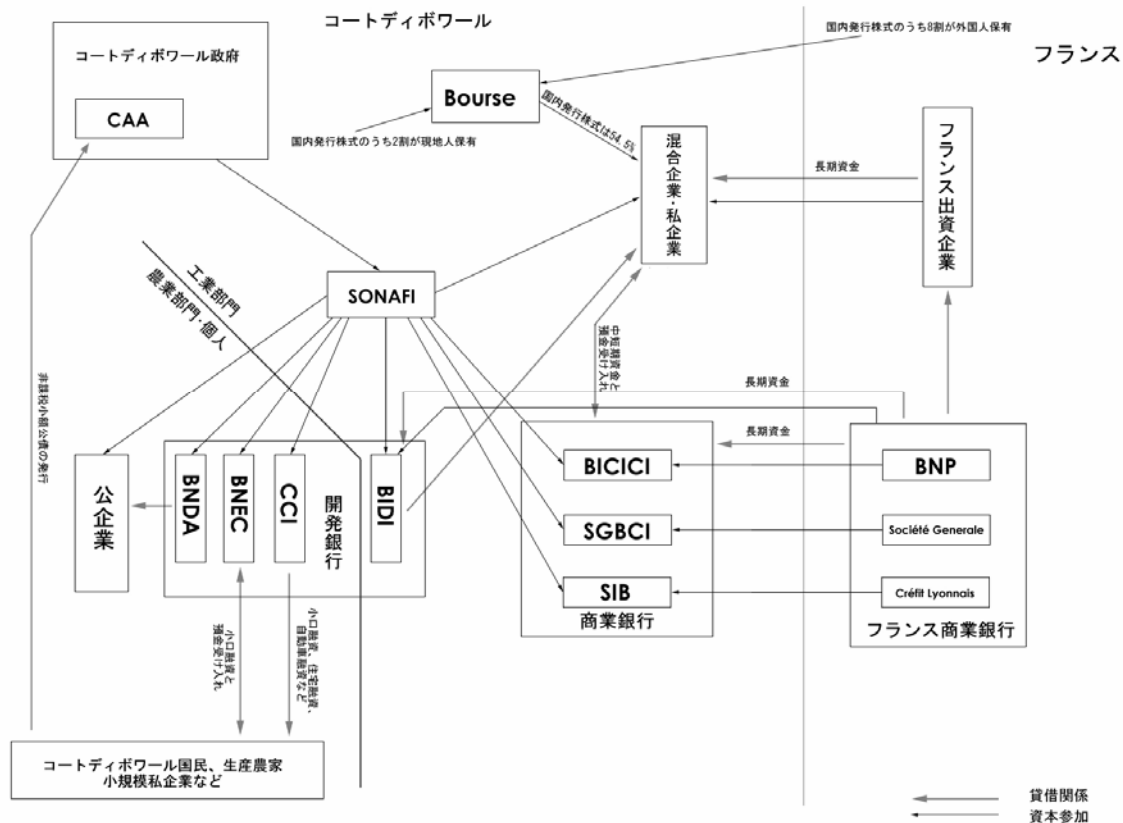
金融機関は、「非農業関連部門」への資金供給を担う。

ただし一般企業への長期資金の大部分は親会社から供給。

4.2 コートディボワールの産業金融関係の特徴

4.2.1 資本関係

図2 コートディボワールの産業金融関係



政府による資本参加

すべて金融公社 (SONAFI)を通じて行われる。

コートディボワール国内の事実上唯一の出資者。

「農業関連部門」の企業は『公企業』が中心であり、政府が唯一の出資者となる。

混合企業に対する国内からの出資者。

民間の資本参加

「非農業関連部門」を中心に担う『混合企業』に対し出資する主体。

4.2.2 資金調達手段関係

「農業関連部門」の資金調達

「農業関連部門」は『公企業』の一般企業が中心となり活動。

「農業関連部門」への資金供給は『公企業』に分類される金融機関が行う。

農村部を中心とした一般国民の零細貯蓄は『公企業』の金融機関 (BNEC)を経由し「農業関連部門」へ。

政府(地元資本)同士で資金の需給関係を形成しており、金融連環の輪が『公企業』のみで閉塞

「非農業関連部門」の資金調達

「非農業関連部門」は外国資本参加の一般企業が中心となり活動。

外国資本が参加する商業銀行は「非農業関連部門」に短期資金を供給。

「非農業関連部門」の企業は、中長期資金は資本参加している親企業から調達する例が多い。

外国資本参加の一般企業と外国資本参加の金融機関間で資金調達関係が成立。

「非農業関連部門」は国内貯蓄に依存しない金融体制を構築。

5 分断された金融関係と経済開発

5.1 コートディボワールの金融関係

「農業関連部門」

国内の政府資本が産業活動を行い、国内の政府資本が資金を供給。

「非農業関連部門」

外国資本が中心に産業活動を行い、外国資本が資金を供給。

金融的分断

国内貯蓄は、「農業関連部門」に流れる構造。

「農業関連部門」と「非農業関連部門」との間には連環がほとんど存在せず金融的に分断されている。

「非農業関連部門」は国民貯蓄からも分断。

コートディボワールでは国内資本蓄積が「非農業関連部門」の資金供給源とはならない構造を持っていた。

5.2 1970年代のコートディボワールの成長の問題点

1970年代のコートディボワールの経済拡大は、主として農産物輸出による。

しかし、同国には「農業関連部門」の成長によって生じた余剰を、「非農業関連部門」への開発資金へと変換するための金融的結合関係不在であった。

このような植民地時代の産業金融構造を残した同国の状況が、「農業関連部門」による経済開発を、「非農業関連部門」へと派生させることを、結果的に阻害した阻害した。

「農業関連部門」と「非農業関連部門」間に金融的結合がなされていなかったことが、コートディボワールの経済発展を持続させることができなかつた一因と考えられる。

参考文献

- A.A. MAZRUI, C.WONDJ,
Histoire Générale de l' Afrique VIII l' Afrique depuis 1935, Editon Abrégée,
 Paris, Vanves, Présence Africaine, Edicef, UNESCO, 1998.
- Banque Centrale des Etats de l' Afrique Ouest,
Note d' information et statistiques, 1980.
- Banque Internationale pour le Commerce et l'Industrie en Côte d'Ivoire,
 Page Accueil, <http://www.bicici.org/index.html> (21 July 2004).
- Bastiaan A.DEN TUINDER,
Ivory Coast, The Challenge of Success, Report of a mission sent to the Ivory Coast by the World Bank,
 Washington D.C., Baltimore, The John Hopkins University Press, 1978.
- Crédit Agricole-Indosuez,
 L' Histoire,
<http://www.credit-agricole.fr/legroupe/fr/histoire/histoire.shtml#top> (21 July 2004).
- ECO Bank,
 A propos,
http://www.ecobank.com/French/A_propos_fr.htm (21 July 2004).
- Ellen Hanak FREUD, Phillippe PETITHUGYENIN, Jacques RICHERD,
Les Champs du cacao, Un défi de compétitivité Afrique-Asie,
 Paris, Montpellier, Karthala-Cirad, 2000.
- Groupement d' Intérêt Economique pour Favoriser le Développement du Crédit
 Automobile et Industriel en Afrique ,
 Organisation et fonctionnement,
<http://www.giefca.com/french/encadrement.html> (21 July 2004).
- Guide pratique de vos affaires Air Afrique,
http://www.izf.net/izf/FT99/A/AIR_AFRIQUE.htm (21 July 2004).
- History and structure of the Caisse Autonome d' Ammorissement (CAA)
<http://www.winne.com/coteivoire/to06.html> (21 July 2004).
- Interview de M.Konan N' Guessean,
 le Directeur Général du GESTOCI,
<http://www.winne.com/coteivoire/to14interv.html> (21 July 2004).
- Interview de M.Savané Vassiriki,
 le Directeur Général de l' Air Ivoire,
<http://www.winne.com/coteivoire/to02interv.html> (21 July 2004).
- Interview with Mr. Marcel Mensah Kodjo,
 the General Director of the Banque Internationale pour l' Afrique de l' Ouest,
<http://www.winne.com/coteivoire/to05.html> (21 July 2004).
- Thierry Paulais,

Le développement urbain en Côte d'Ivoire, Les projets de la Banque mondiale,
Paris, 1995, Kartala.

Michel BERNARD,

«*Les entreprises publiques en Côte d'Ivoire*», *Banque Centrale des Etats de l' Afrique de l' Ouest*

L' Economie Ouest Africaine, Note d' Information, No.170, Février 1970.

Société Générale de Banque en Côte d'Ivoire,

Informations générales, Presentation de la SGBIC,

<http://www.sgbci.ci/index1.php> (21 July 2004).

Société Ivoirienne de Banque,

Page Accueil,

<http://www.sib.ci/accueil.html> (21 July 2004).

アジア経済研究所、『コートジボアールの投資環境、アフリカ経済概観 8』、1967年。

岡田昭男、『フラン圏の形成と発展 増補版』、信山社、1998年、284から286ページ。

高根勉、「西アフリカ諸国の経済」(末原達郎編『アフリカ経済』、世界思想社、1998年)。

原口武彦、「コート・ジボワール経済の奇跡的成長と危機」『アジア経済』、Vol.27-5、アジア経済研究所、1986年。

藤田弘二編、『アフリカ経済の諸問題、研究参考資料第73集』、アジア経済研究所、1964年。